



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 2 年 10 ～ 12 月 見 通 し

Forecast for Oct. - Dec. 2020



令和 2 年 11 月

November 2020

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics

Economic and Social Research Institute

Cabinet Office, Government of Japan

(調 査 の 概 要)

機械受注見通し調査は、機械製造業者の受注する設備用機械について、四半期ごとに翌期の受注見通し等を調査したものである。調査対象は「機械受注実績調査」の対象となっている主要な機械製造業者、また調査時点は毎四半期末であり、今回調査の見通し時点はおおむね2020（令和2）年9月下旬と推定される。

1987（昭和62）年7～9月見通し調査より、調査対象社数を178社から280社に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月より、機種分類の「電子・通信機械」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

(使 用 上 の 注 意)

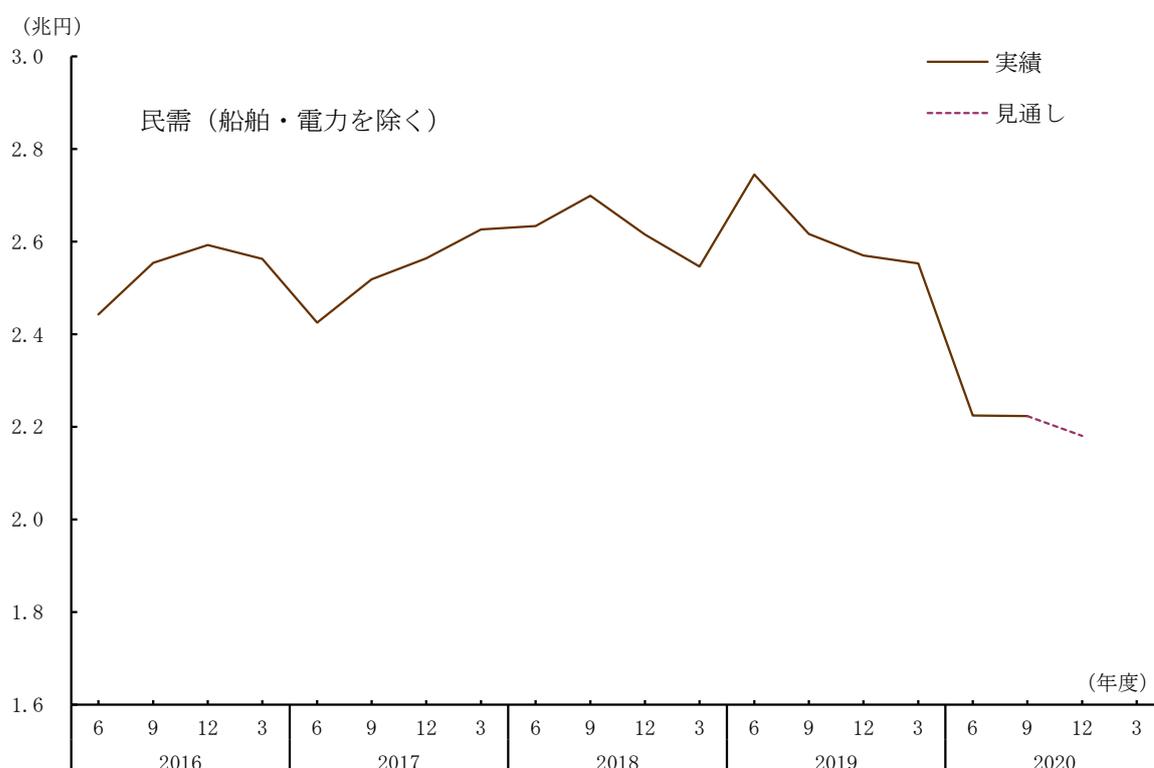
1. 1989（平成元）年4～6月実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
2. 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。

2020（令和2）年10～12月の機械受注見通し

1. 集計結果の概要

- (1) 2020年10～12月の機械受注見通し額について、調査対象企業の見通しを集計したところ、受注総額で5兆8,144億円、前年同期の実績に対し6.7%の減少、「船舶・電力を除く民需」で2兆3,134億円、同3.0%の減少という結果になった。
- (2) これに最近における「達成率」を乗じると、受注総額で前年同期に対し13.6%減、「船舶・電力を除く民需」で同13.2%減の見通しとなった。
- (3) 季節調整値により、前期（7～9月）の実績に対する比率を見ると、受注総額で7.8%減、「船舶・電力を除く民需」で1.9%減の見通しとなった。

第1図 受注額の実績と見通し（季節調整系列）



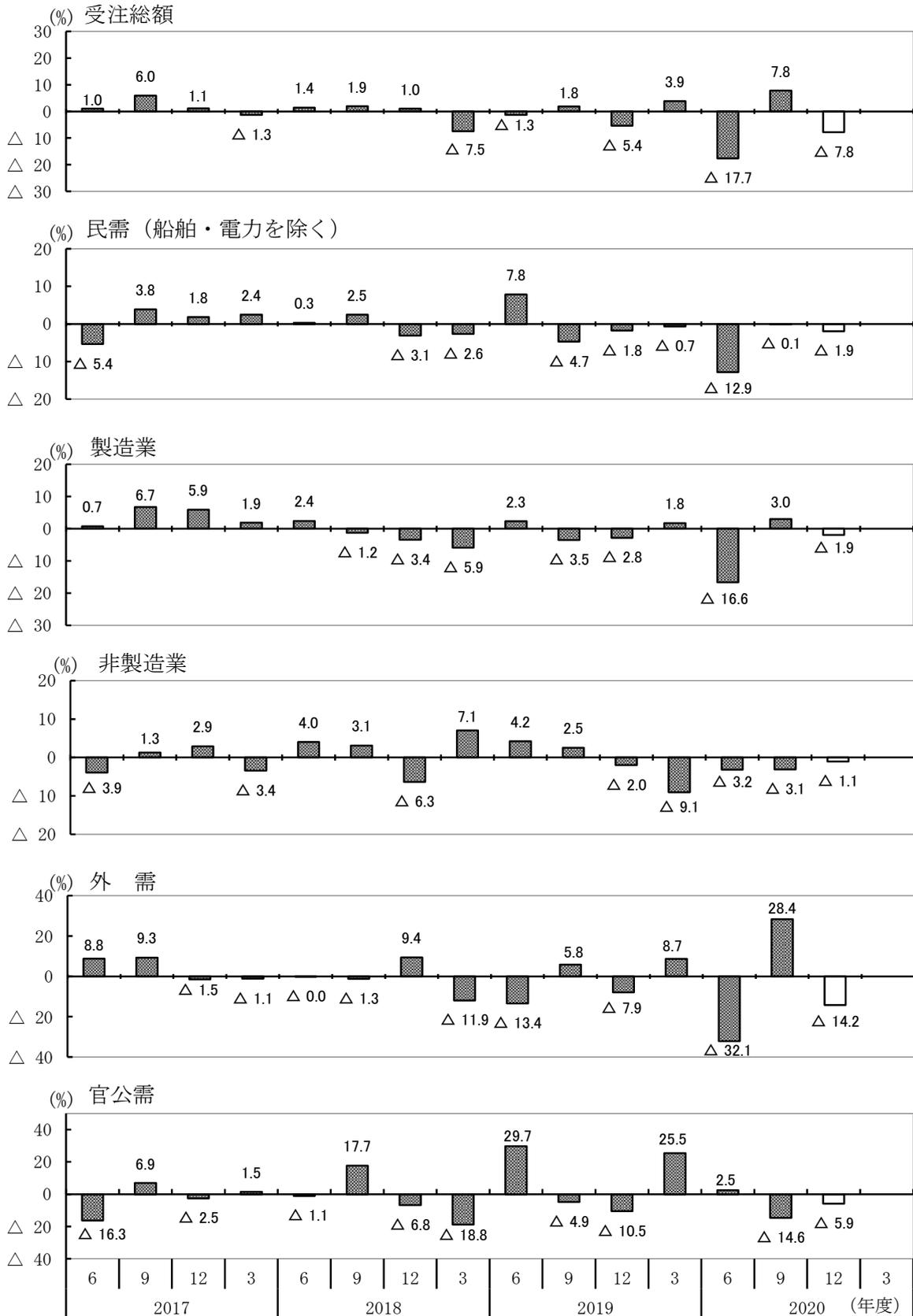
第1表 需要者別見通し額（季節調整系列）

（単位：100万円，％）

需要者		期			
		2020年 (令和2年) 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 見通し
実 数	受注総額	6,896,290	5,678,770	6,121,200	5,642,672
	民需	2,984,701	2,734,655	2,787,859	2,698,172
	（船舶を除く）	（ 2,881,014）	（ 2,698,968）	（ 2,666,102）	（ 2,624,350）
	（船舶・電力を除く）	（ 2,552,578）	（ 2,224,262）	（ 2,223,080）	（ 2,180,209）
	製造業	1,097,193	914,765	941,803	923,766
	非製造業	1,889,824	1,830,027	1,773,416	1,754,790
	（船舶・電力を除く）	（ 1,453,517）	（ 1,312,964）	（ 1,280,598）	（ 1,265,263）
	官公需	911,466	933,949	797,587	750,504
	外需	2,637,083	1,790,748	2,298,714	1,973,025
代理店	358,133	297,235	301,846	309,835	
前 期 比	受注総額	3.9	△ 17.7	7.8	△ 7.8
	民需	△ 5.1	△ 8.4	1.9	△ 3.2
	（船舶を除く）	（ △ 8.1）	（ △ 6.3）	（ △ 1.2）	（ △ 1.6）
	（船舶・電力を除く）	（ △ 0.7）	（ △ 12.9）	（ △ 0.1）	（ △ 1.9）
	製造業	1.8	△ 16.6	3.0	△ 1.9
	非製造業	△ 9.1	△ 3.2	△ 3.1	△ 1.1
	（船舶・電力を除く）	（ △ 5.1）	（ △ 9.7）	（ △ 2.5）	（ △ 1.2）
	官公需	25.5	2.5	△ 14.6	△ 5.9
	外需	8.7	△ 32.1	28.4	△ 14.2
代理店	3.6	△ 17.0	1.6	2.6	

- （注） 1. 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。
 2. 個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値と一致しない。

第2図 需要者別機械受注の動向（季節調整系列、前期比）



(備考) 2020年7～9月期以前は実績値。

2. 需要者別見通しについて

(1) 需要者別見通し額（季節調整済系列）

10～12月の機械受注見通し額（季節調整値）を前期比で見ると、受注総額は7～9月7.8%増の後、10～12月には、7.8%減の見通しとなった（第1表）。

これを需要者別にみると、民需は7～9月1.9%増の後、10～12月には製造業（1.9%減）、非製造業（1.1%減）がともに減少するとみられることから、合計では3.2%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は7～9月0.1%減の後、10～12月には1.9%減となる見通しになっている。

機械受注の見通し額（季節調整済系列）は、単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整済）を乗じ、単純集計値の季節指数で除して求めている（「達成率」については後述）。

参考表 需要者別見通し額(季節調整値)の算出

	単純集計値	3期平均 達成率	原数値	季節指数	季節調整値
受注総額	5,814,391	92.6	5,383,054	95.4	5,642,672
民需	2,677,582	94.2	2,521,026	93.4	2,698,172
(船舶を除く)	2,656,460	92.2	2,449,986	93.4	2,624,350
(船舶・電力を除く)	2,313,375	89.5	2,070,462	95.0	2,180,209
製造業	1,064,879	83.7	891,029	96.5	923,766
非製造業	1,612,703	99.6	1,606,352	91.5	1,754,790
(船舶・電力を除く)	1,253,774	94.0	1,178,879	93.2	1,265,263
官公需	629,071	109.4	688,010	91.7	750,504
外需	2,181,248	87.6	1,909,999	96.8	1,973,025
代理店	326,490	97.7	319,091	103.0	309,835

(2) 需要者別見通し額（原系列）

10～12月の機械受注見通し額について、単純集計値をみると、受注総額は5兆8,144億円であり、前年同期の実績に比べ、6.7%減となった（第2表）。

平均達成率調整後の見通し（原系列）をみると、受注総額では、10～12月には前年同期比13.6%減となる見通しになっている。需要者別にみると、民需は、製造業（13.4%減）、非製造業（13.8%減）がともに減少するとみられることから、12.8%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は13.2%減となる見通しになっている。

第2表 需要者別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

需要者		期	2020年	7～9月	10～12月	(参考)
			(令和2年)			
			4～6月			
			実績	実績	見通し	単純集計値
実数	受注総額		5,259,524	6,055,336	5,383,054	5,814,391
	民需		2,521,689	2,709,763	2,521,026	2,677,582
	(船舶を除く)	(2,500,286)	(2,647,627)	(2,449,986)	(2,656,460)
	(船舶・電力を除く)	(2,153,209)	(2,233,633)	(2,070,462)	(2,313,375)
	製造業		905,988	932,024	891,029	1,064,879
	非製造業		1,615,701	1,777,739	1,606,352	1,612,703
	(船舶・電力を除く)	(1,253,332)	(1,305,880)	(1,178,879)	(1,253,774)
	官公需		778,421	796,185	688,010	629,071
	外需		1,672,871	2,243,962	1,909,999	2,181,248
	代理店		286,543	305,426	319,091	326,490
前年同期比	受注総額		△ 17.7	△ 11.6	△ 13.6	△ 6.7
	民需		△ 15.5	△ 14.9	△ 12.8	△ 7.4
	(船舶を除く)	(△ 15.7)	(△ 15.0)	(△ 13.3)	(△ 6.0)
	(船舶・電力を除く)	(△ 19.1)	(△ 14.1)	(△ 13.2)	(△ 3.0)
	製造業		△ 19.9	△ 15.0	△ 13.4	3.5
	非製造業		△ 12.7	△ 14.8	△ 13.8	△ 13.4
	(船舶・電力を除く)	(△ 18.4)	(△ 13.4)	(△ 13.4)	(△ 7.9)
	官公需		8.9	6.6	11.3	1.8
	外需		△ 28.4	△ 12.3	△ 19.1	△ 7.6
	代理店		△ 19.6	△ 15.4	△ 11.2	△ 9.1

(注) 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。従って、各部門の合計値は受注額合計値と一致しない。

(3) 需要者別達成率の動向

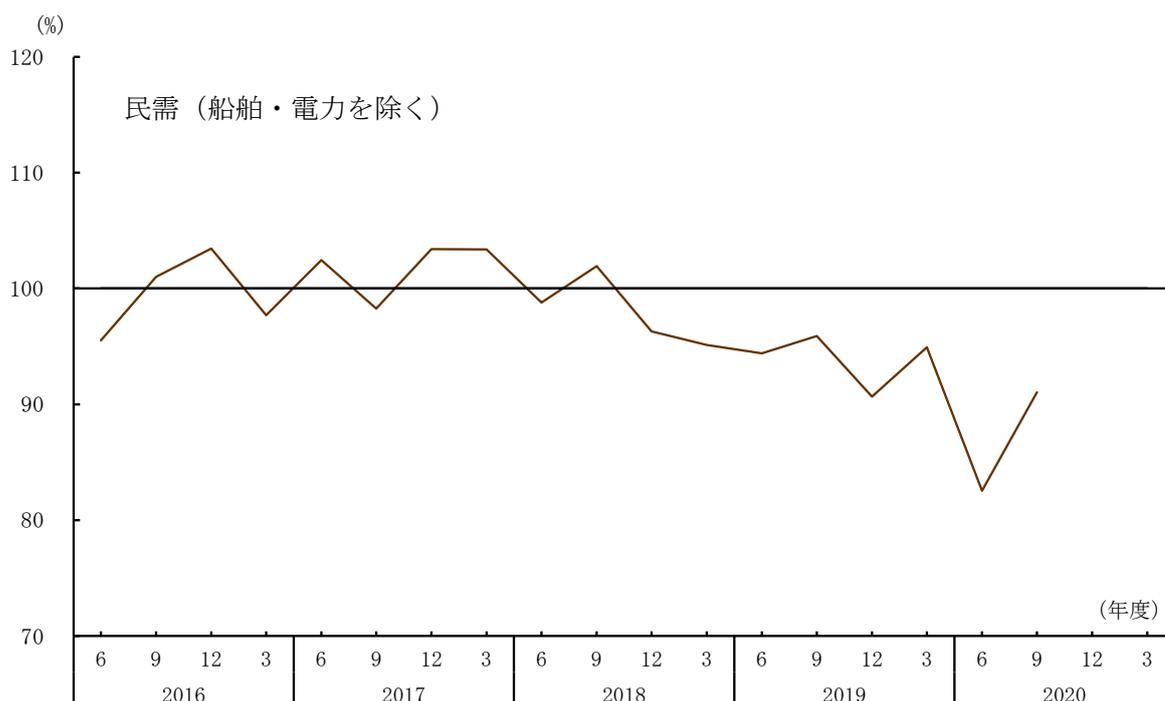
機械受注額の「見通し(単純集計値)」に対する「実績」の乖離を調整するために、両者の比を「達成率」として計算し、直近の3期平均達成率を見通しの「単純集計値」に乗じている。

最近における達成率(季節調整済)の動向は、第3図及び第3表のとおりである。

7～9月の機械受注見通し達成率をみると、受注総額では100.4%と100%を上回り、4～6月の達成率と比べ19.9ポイント上昇した(第3表)。

民需(100.1%)は同13.6ポイント上昇、「船舶・電力を除く民需」(91.0%)は同8.5ポイント上昇した。製造業(87.2%)は同12.3ポイント上昇、「非製造業(船舶・電力を除く)」(93.8%)は同5.5ポイント上昇した。

第3図 達成率 (季節調整系列)



(備考) 達成率(季節調整値)は、(実績(季節調整値)/見通し(単純集計値、季節調整値))で算出している。

第3表 需要者別達成率 (季節調整系列)

(単位：%)

需要者	期	2019年 (令和元年) 10~12月	2020年 (令和2年) 1~3月	4~6月	7~9月	3期平均
受注総額		88.6	96.8	80.5	100.4	92.6
民需		96.3	95.8	86.5	100.1	94.2
(船舶を除く)		(97.2)	(93.7)	(86.8)	(96.2)	(92.2)
(船舶・電力を除く)		(90.7)	(94.9)	(82.5)	(91.0)	(89.5)
製造業		83.5	89.0	74.9	87.2	83.7
非製造業		105.3	100.1	94.8	104.0	99.6
(船舶・電力を除く)		(98.6)	(100.0)	(88.3)	(93.8)	(94.0)
官公需		84.0	133.9	100.6	93.6	109.4
外需		80.1	88.7	67.9	106.1	87.6
代理店		99.1	100.9	91.4	100.8	97.7

3期平均は2020年1~3月から7~9月までの3期の単純平均。

3. 機種別見通しについて

(1) 機種別見通し額

10～12月の受注見通し（原系列）を機種別に前年同期比で見ると、鉄道車両（66.3%減）、航空機（40.5%減）、船舶（38.7%減）、工作機械（23.8%減）、重電機（17.8%減）、道路車両（8.1%減）、原動機（5.9%減）、電子・通信機械（5.6%減）及び産業機械（4.7%減）で減少する見通しになっている（第4表）。

第4表 機種別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

機 種		期	2020年 (令和2年) 4～6月 実 績	7～9月 実 績	10～12月 見 通 し	(参考) 単純集計値
実 数	原 動 機		455,274	510,062	549,373	487,321
	重 電 機		377,669	462,321	442,856	489,108
	電子・通信機械		2,187,222	2,029,909	1,977,003	1,972,514
	産 業 機 械		1,537,122	2,030,546	1,634,640	1,807,511
	工 作 機 械		135,069	169,739	157,261	188,047
	鉄 道 車 両		124,178	122,668	85,580	144,902
	道 路 車 両		226,096	300,875	330,107	323,438
	航 空 機		126,200	260,677	130,621	159,658
	船 舶		90,694	168,539	157,971	241,892
	合 計		5,259,524	6,055,336	5,411,109	5,814,391
前 年 同 期 比	原 動 機		△ 1.6	△ 22.9	△ 5.9	△ 16.5
	重 電 機		△ 28.8	△ 11.7	△ 17.8	△ 9.2
	電子・通信機械		△ 2.6	△ 14.1	△ 5.6	△ 5.8
	産 業 機 械		△ 22.5	2.4	△ 4.7	5.3
	工 作 機 械		△ 46.8	△ 26.6	△ 23.8	△ 8.9
	鉄 道 車 両		△ 49.3	△ 33.1	△ 66.3	△ 42.9
	道 路 車 両		△ 39.6	△ 19.8	△ 8.1	△ 10.0
	航 空 機		△ 34.9	△ 21.7	△ 40.5	△ 27.3
	船 舶		△ 11.8	△ 14.9	△ 38.7	△ 6.1
	合 計		△ 17.7	△ 11.6	△ 13.1	△ 6.7

(注) 見通しの計数は、各機種ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率を乗じて算出している。従って、各機種の合計値は受注額合計値と一致しない。

(2) 機種別達成率の動向

7～9月の機種別達成率をみると、道路車両（130.6％）が前期と比べ49.1ポイント、工作機械（99.4％）が同28.1ポイント、産業機械（103.3％）が同27.8ポイント、航空機（78.3％）が同26.8ポイント、船舶（56.7％）が同19.2ポイント、原動機（124.6％）が同15.5ポイント、重電機（93.4％）が同12.9ポイント、鉄道車両（61.4％）が同6.5ポイント、電子・通信機械（100.6％）が同6.4ポイント上昇した（第5表）。

第5表 機種別達成率

(単位：％)

	2019年 (令和元年) 7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月
原 動 機	99.8	73.5	104.4	109.1	124.6
重 電 機	83.0	99.6	97.7	80.5	93.4
電子・通信機械	103.3	98.8	105.9	94.2	100.6
産 業 機 械	86.2	77.6	92.5	75.5	103.3
工 作 機 械	82.6	84.3	80.2	71.3	99.4
鉄 道 車 両	71.3	106.0	60.9	54.9	61.4
道 路 車 両	96.2	100.9	94.1	81.5	130.6
航 空 機	86.4	81.0	115.6	51.5	78.3
船 舶	70.2	73.4	101.7	37.5	56.7
合 計	91.7	87.4	98.4	81.9	99.0

(注) 達成率は（実績（原数値）／見通し（単純集計値））で算出している。

第6表 機械受注見通し調査（2020年9月調査）
2020年10～12月受注見通し額集計結果表

（単位：100万円）

機種別 需要者別	原 動 機	重 電 機	電子・通信機械	産 業 機 械	工 作 機 械	
受 注 総 額	487,321	489,108	1,972,514	1,807,511	188,047	受 計
民 需	317,985	255,129	1,000,775	815,830	84,665	民 計
製 造 業	137,841	64,381	327,663	423,869	82,963	製 計
非 製 造 業	180,144	190,748	673,112	391,961	1,702	非 計
内 電 力 業	153,193	135,153	30,991	23,747	0	電 力
官 公 需	9,718	84,474	277,259	102,094	59	官 計
外 需	159,526	64,405	677,973	777,317	102,028	海 外
代 理 店	92	85,100	16,507	112,270	1,295	代 理 店

機種別 需要者別	鉄 道 車 両	道 路 車 両	航 空 機	船 舶	合 計	
受 注 総 額	144,902	323,438	159,658	241,892	5,814,391	受 計
民 需	101,734	63,761	16,581	21,122	2,677,582	民 計
製 造 業	6,862	675	15,347	5,278	1,064,879	製 計
非 製 造 業	94,872	63,086	1,234	15,844	1,612,703	非 計
内 電 力 業	1	0	0	0	343,085	電 力
官 公 需	14,756	1,260	74,256	65,195	629,071	官 計
外 需	28,114	147,489	68,821	155,575	2,181,248	海 外
代 理 店	298	110,928	0	0	326,490	代 理 店